

市長記者会見資料
(報道発表資料)

京都市特別顧問の 任用について



令和6年6月17日
担当課：行財政局人事部人事課
問合わせ先：075-222-3232

突き抜ける「世界都市京都」の実現



1 京都市特別顧問の概要

- 突き抜ける「世界都市京都」の実現に向け、本市のこれからの都市経営や重要政策の推進等に助言をいただくため、新たに「京都市特別顧問」を設置する。
- 外部の専門的な知見を有する方々と協働することで、本市の重要政策等のより一層の推進を図るとともに、職員の育成や組織風土改革にもつなげていく。

■ 任用形態等

1 職の名称

京都市特別顧問

地方自治法第174条の規定に基づく京都市専門委員（特別職・非常勤職員）

2 職務内容

京都市の重要政策等について、専門的見地から助言等を行う

3 任命日

令和6年7月1日

4 勤務形態

随時的勤務

2 京都市特別顧問の任命者

京都市特別顧問の任命者（氏名の五十音順で記載）

氏名	役職等	主にご担当いただく分野
今井 尚哉 氏	内閣官房参与・元内閣総理大臣補佐官	経済・産業
植田 浩 氏	元内閣官房内閣人事局人事政策統括官	地方行政
内田 由紀子 氏	京都大学「人と社会の未来研究院」教授	ウェルビーイング
鈴木 寛 氏	元文部科学大臣補佐官	教育・公共政策
平田 オリザ 氏	劇作家、演出家	文化・芸術

※今後、本市と関係機関で任命に向けた各種手続きを行います

2 京都市特別顧問の任命者①

(氏名の五十音順で記載)

いまい たかや
今井 尚哉 氏

— 内閣官房参与・元内閣総理大臣補佐官 —

◆ 略歴

経済産業省大臣官房審議官や資源エネルギー庁次長などを歴任し、令和2年から内閣総理大臣の諮問に応じて専門的な立場から情報提供・助言などを行う「内閣官房参与（エネルギー政策等）」を務める。

新潟県出身、東京大学法学部卒

昭和57年 通商産業省 入省

平成14年 経済産業省経済産業政策局企業行動課長

平成18年 内閣総理大臣秘書官

平成19年 経済産業省大臣官房政策審議室長

平成20年 経済産業省大臣官房総務課長

平成22年 経済産業省大臣官房審議官

平成23年 資源エネルギー庁次長

平成24年 内閣総理大臣秘書官

令和元年 内閣総理大臣補佐官

令和2年 内閣官房参与（エネルギー政策等）
キヤノングローバル戦略研究所研究主幹（現在に至る）



◆ 主にご担当いただく分野

経済・産業

2 京都市特別顧問の任命者②

(氏名の五十音順で記載)

うえだ ひろし
植田 浩 氏

－元内閣官房内閣人事局人事政策統括官－

◆ 略歴

札幌市財政局長や千葉県副知事、大阪府副知事などを歴任し、
平成29年には内閣官房内閣人事局人事政策統括官に就任。
令和2年10月から令和6年2月まで駐ルーマニア特命全権大使を務めた。

大阪府出身、東京大学法学部卒
昭和58年 自治省 入省
平成10年 札幌市財政局長
平成13年 国土交通省都市・地域整備局地方整備課調整官
平成14年 総務省自治財政局財政課財政企画官
平成16年 千葉県総務部長
平成19年 千葉県副知事
平成21年 総務省自治行政局市町村課長・住民制度課長（平成22年）
平成22年 総務省自治行政局公務員部公務員課長
平成25年 大阪府副知事
平成29年 内閣官房内閣人事局人事政策統括官（令和元年7月退任）
令和 2年 駐ルーマニア特命全権大使（令和6年2月辞職）



◆ 主にご担当いただく分野

地方行政

2 京都市特別顧問の任命者③

(氏名の五十音順で記載)

うちだ ゆきこ 内田 由紀子 氏 – 京都大学「人と社会の未来研究院」教授 –

◆ 略歴

京都大学「人と社会の未来研究院」教授・研究院長。

専門分野は社会心理学・文化心理学。

内閣府「幸福度に関する研究会」構成員や文部科学省「中央教育審議会」委員などを歴任し、日本のウェルビーイング政策に大きく貢献。

兵庫県出身、京都大学教育学部教育心理学科卒業
京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了

平成15年9月～平成16年5月

ミシガン大学客員研究员

平成16年9月～平成17年3月

スタンフォード大学客員研究员

平成20年1月～

京都大学こころの未来研究センター 助教

平成23年4月～

同 准教授

平成31年4月～現在

同 教授（令和4年より改組により「人と社会の未来研究院」所属）

令和元年9月～令和2年5月

スタンフォード大学行動先端科学研究所フェロー

令和5年4月～現在

京都大学「人と社会の未来研究院」院長



◆ 主にご担当いただく分野 ウェルビーイング

2 京都市特別顧問の任命者④

(氏名の五十音順で記載)

すずき かん 鈴木 寛 氏 －元文部科学大臣補佐官－

◆ 略歴

12年間（平成13年～平成25年）の参議院議員在任中、文部科学副大臣を二期務めるなど、教育、医療、スポーツ・文化、科学技術イノベーション、IT政策を中心に活動。

平成24年には、社会起業家の育成を目指す「一般社団法人 社会創発塾」を設立し、塾長を務める。

兵庫県出身、東京大学法学部卒業

昭和61年 通商産業省 入省（平成11年3月退官）

平成13年7月～平成25年7月 参議院議員

文部科学副大臣や東京オリンピック・パラリンピック招致議連事務局長、日本ユネスコ委員など歴任

平成26年 2月～現在

東京大学公共政策大学院教授

平成26年 2月～令和5年 2月

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授

平成26年10月～平成27年 2月

文部科学省参与

平成27年 2月～平成30年10月

文部科学大臣補佐官（四期）

令和5年 2月～現在

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授



◆ 主にご担当いただく分野

教育・公共政策

2 京都市特別顧問の任命者⑤

(氏名の五十音順で記載)

ひらた

平田 オリザ 氏 – 劇作家、演出家 –

◆ 略歴

劇団青年団主宰、芸術文化観光専門職大学学長。

これまで岸田國士戯曲賞やモンブラン国際文化賞など、数々の賞を受賞。

また、京都文教大学客員教授、（公財）舞台芸術財団演劇人会議理事、日本演劇学会理事、一般財団法人地域創造理事、豊岡市文化政策担当参与、宝塚市政策アドバイザー、枚方市文化芸術アドバイザーなどを歴任。

東京都出身、国際基督教大学教養学部卒業

平成 7年 『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞受賞

平成 18年 モンブラン国際文化賞受賞

平成 23年 フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲

平成 31年 『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞受賞



◆ 主にご担当いただく分野

文化・芸術